



日々の練習から闘志を燃やす――

五十嵐敦さん

相撲を始めて25年近くになります。国内の大会には数多く出場してきましたが、31歳になって、世界レベルの大会に挑戦するとは、夢にも思っていませんでした。きっかけは、昨年5月に初開催された全日本相撲個人体重別選手権大会。10月に開催される世界選手権の代表選考を兼ねたこの大会のシニア男子重量級で優勝し、日本代表としての切符を初めて手にしました。世界選手権までの数カ月間はけがもあり、国体も予選敗退と勝てない日々が続いていて、不安がいっぱいでした。そんな時に、高校時代にお世話になった指導者から「試合に勝とう、ではなく自分は絶対負けないんだ、というふてぶてしい気持ちを持って」とアドバイスをもらい、気持ちを切り替えて練習に集中することができました。

世界選手権は、過去最多の30カ国・地域から約400人の選手・役員が参加した大会で、あらためて日本

の国技「相撲」が世界に広まっていることを目の当たりにしました。だからこそ、日本人である私が、世界の場でも恥ずかしくない相撲をしようと思いましたね。結果は、個人戦で日本勢唯一の金メダル。ほっとした気持ちがある一方で、改めて世界一の重圧を感じています。

30歳を過ぎ、年齢的にはベテランの域に達し、今後、強くなるのは難しくなっています。でも、練習に打ち込んでいると、負けないぞという気持ちが高まり、まだまだ闘志が湧いてくるんです。これからも「現役」にこだわって、頑張っていきたいですね。



海外の選手にも引けをとらない、187センチ・165kgの堂々たる体格

写真 de もりおか

市内で開催されたイベントや出来事を紹介します。紙面で紹介しきれなかった写真は、市公式ホームページの取材日記に掲載しています。



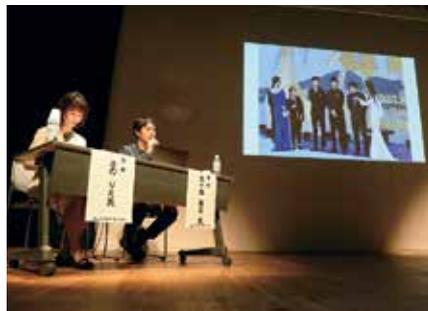
取材日記

1 21 マリと盛岡 つながる絆



マリ共和国の柔道連盟と、東京2020オリンピック事前合宿受け入れに関する覚書を、サンセール盛岡(志家町)で締結しました。締結の後には、マリ共和国への支援を続けてきたカラ西アフリカ農村自立協力会の村上一枝代表によるトークイベントが開かれました。村上代表は、母校である盛岡二高の生徒に「覚書締結をきっかけに、マリ共和国に関心を持って欲しい」と呼びかけました。

1 25 映画と本から 盛岡の魅力発見!



もりおかブランドフォーラム2020をプラザおでつて(中ノ橋通一)で開催しました。今年は「映画と本で見るもりおか」をテーマに、さまざまな作品に登場する盛岡を、登壇者が紹介。映画「影裏」のプロデューサーである五十嵐真志さんは「影裏の7割は盛岡で撮影した。映像として映える景観が多いと思う。この作品がきっかけで、盛岡でロケをする映画が増えればうれしい」と話しました。

1 29 ワカサギ釣りの シーズン到来!



本州一寒いと言われる菟川の岩洞湖で、今シーズンのワカサギ釣りが解禁になりました。解禁の目安としている氷の厚さは15センチ。暖冬の影響で、例年より遅くなった解禁を待ち望んでいたファンが700人以上集まり、夜明け前から釣り糸を垂らしていました。釣りが楽しめるのは3月中旬ごろまで。釣具やテントなど道具一式はレンタルもできるので、初心者でも気軽に楽しめます!

2/6~2/8 優しい灯りに ほっこり



もりおか雪あかり2020(同実行委員会主催)が、市内11カ所で開催されました。開催直前までまとまった雪が降らず、盛岡競馬場(新庄字上八木田)から雪を運び、雪像やスノーキャンドルを作るなど準備に追われましたが、当日は見事な雪像や多くのスノーキャンドルが登場。メイン会場の盛岡城跡公園芝生広場をはじめ会場には多くの人々が訪れ、優しい灯りに癒されていました。

もりけんに挑戦 (11ページに掲載)の答え ①糸治

広報もりおかへのご意見をお待ちしています アンケート専用フォームから、特集や各記事への意見をお寄せください。あなたの意見が広報もりおかを育てます。



編集後記 「いわて盛岡シティマラソン」のエントリーが始まりますね。昨年はコース外からの取材でしたが、今年は選手として、走りながら取材したいと思います!(吉田)

地球環境に配慮し、ベジタブルインキを使用しています。